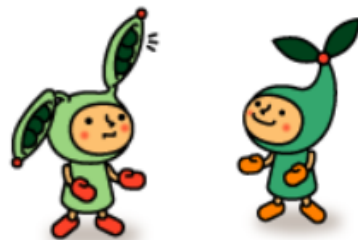


骨密度測定検査について



骨密度測定検査とは

- 骨を構成しているカルシウムなどの量(骨量)を測り、骨の強度を調べる検査です。
- 主に骨粗鬆症の診断やホルモンのバランス異常、先天性の代謝性骨疾患の診断に使われ、病態の解析に用いられます。
- 骨密度が低下すると、骨粗鬆症という骨の中がスカスカな状態になり骨折しやすくなりますので、骨密度を測定することが重要です。



骨粗鬆症のリスク

- 以下に該当する方は、骨粗鬆症のリスクが高いとされています。

①閉経後、または治療により生理を止めている方

②若年期生理不順のあった方

③運動不足・若年期に過度の運動をされていた方

④常習喫煙・過度のアルコール摂取者

⑤甲状腺機能亢進症と診断された方



※特に、女性は男性と比較して骨量が少なく、閉経後にはホルモンバランスが崩れ骨密度が低下することが確認されています。

骨密度測定検査の種類

- 骨密度検査には大きく分けて超音波を用いる方法とX線を用いる方法の2種類があります。
- 超音波を用いる方法はX線による被ばくがないというメリットがありますが、簡易的なものです。
- 当院では、2種類のエネルギーのX線を使い透過率の差を利用して骨密度を測定するDEXA法という方法で検査をしています。
- 主に腰椎と股関節(大腿骨頸部)を測定します。



X線骨密度測定装置

- ・ 当院のX線骨密度測定装置はHOLOGIC社のX線骨密度測定装置「Discovery」を使用しています。



X線骨密度測定装置の特長

極めて少ないX線を利用しているので、
女性の方でも**安心**です。

着衣のまま仰向けに検査台に横になるだけなので、
痛みもなく簡単に測定できます。

とても**スピーディー**に検査できます。
(測定する部位により異なります)

検査データは保存されますので、定期的な検査で、
正確な診断が行えます。

X線骨密度測定検査の流れ

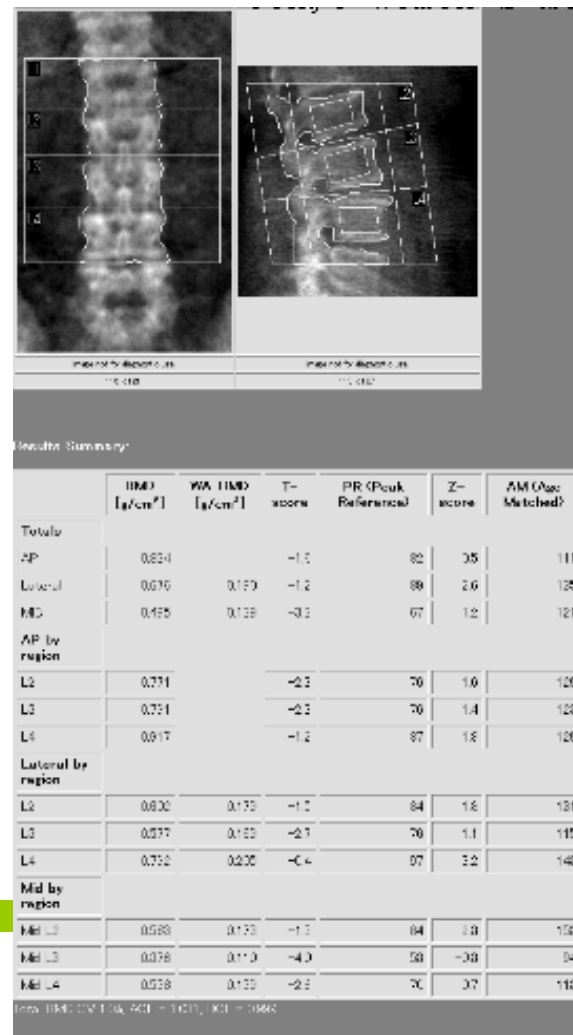
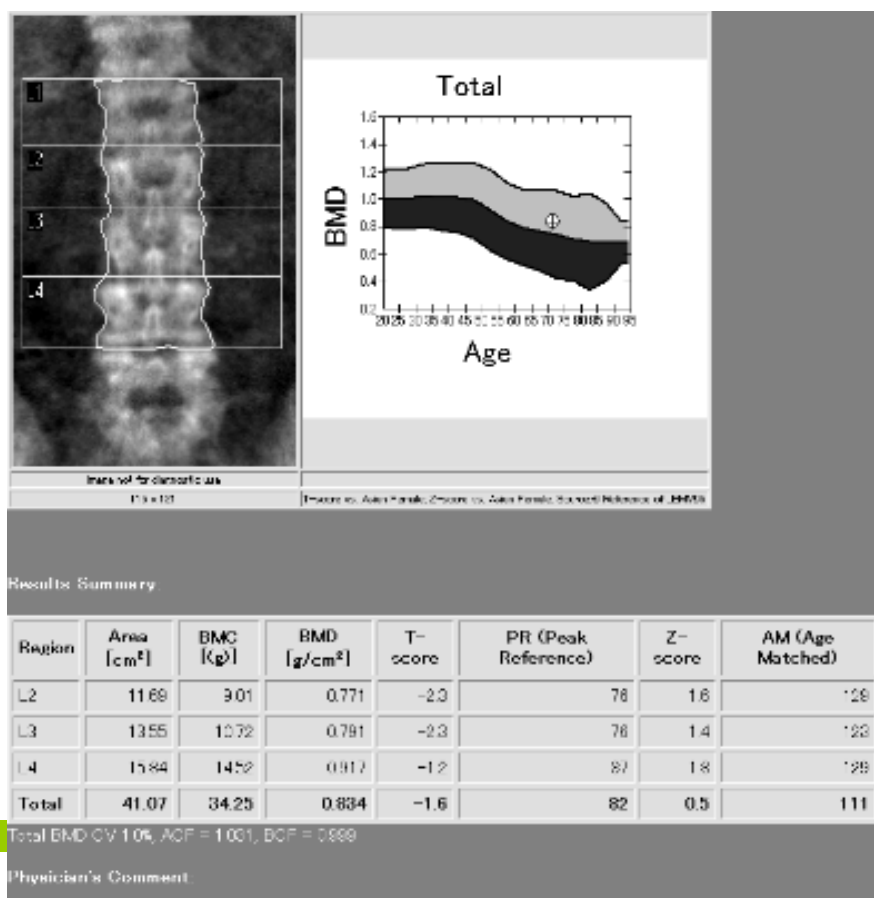
- ① 検査室にて必要であれば下着や貴金属類をはずし、場合によっては検査着に着替えていただきます。
- ② 骨密度装置の検査台に寝ていただき検査を開始します。
- ③ 腰椎を検査するときは腕を挙げ、足の下に台を入れます。股関節を検査するときは足を固定させていただきます。
- ④ 検査中は機械が動きますので体は動かさないようお願い致します、特に息止め等も必要ありません。
- ⑤ 検査終了。

検査時間は10分～20分程度です。



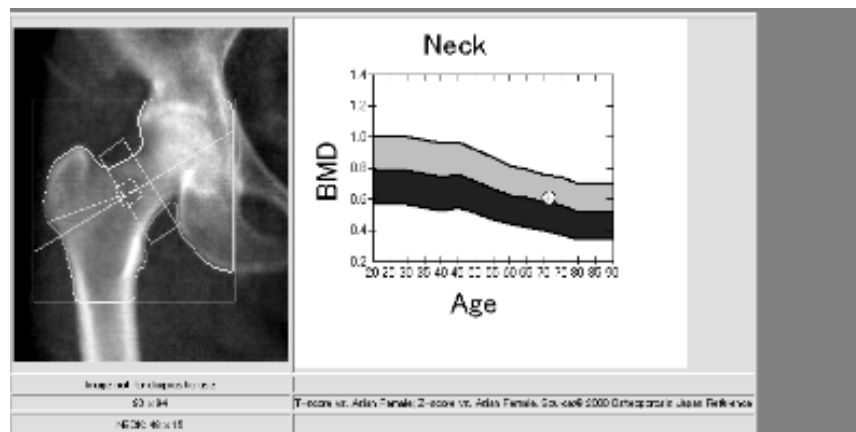
撮影画像(腰椎)

- 骨密度測定検査によって得られた腰椎の画像です。



撮影画像(股関節)

- 骨密度測定検査によって得られた股関節の画像です。

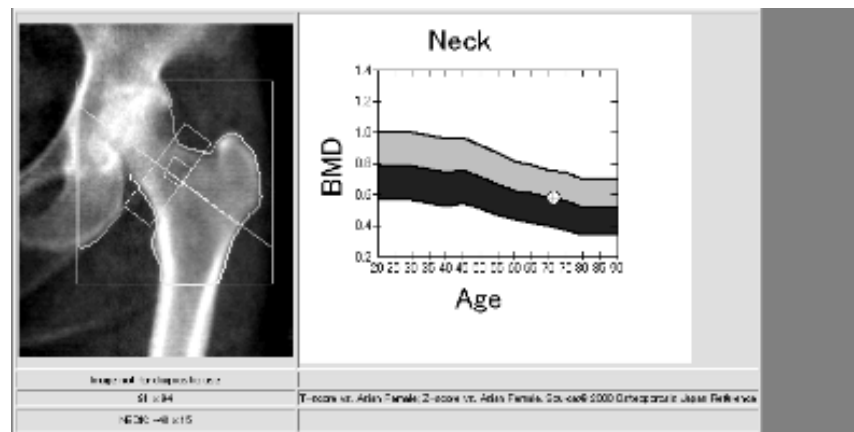


Results Summary:

Region	Area [cm ²]	BMC [kg]	BMD [g/cm ³]	T-score	FR (Peak Reference)	Z-score	AM (Age Matched)
Neck	4.45	2.70	0.607	-1.7	77	0.4	106
Troch	9.14	5.50	0.602	1.1	91	2.1	141
Distal	14.16	12.07	0.852	-1.9	91	1.1	128
Total	27.75	20.27	0.730	-1.2	85	0.9	116
Wrist	1.11	0.47	0.425	-2.4	57	1.4	124

Total BMD CV: 1.0%, ACF = 1.001, BCF = 0.999

Physician's Comment



Results Summary:

Region	Area [cm ²]	BMC [kg]	BMD [g/cm ³]	T-score	FR (Peak Reference)	Z-score	AM (Age Matched)
Neck	4.98	2.88	0.578	-1.9	73	0.1	101
Troch	10.65	6.35	0.590	1.1	90	2.0	140
Distal	11.76	10.35	0.890	-1.8	94	1.2	122
Total	27.70	19.78	0.714	-1.4	83	0.7	114
Wrist	1.10	0.43	0.391	-2.7	53	0.9	115

Total BMD CV: 1.0%, ACF = 1.001, BCF = 0.999

Physician's Comment

注意事項

- 計測に影響を及ぼす場合がある為、検査前に検査着に着替えていただくことがあります。

※計測に影響を与えるものは、ブラジャー、ボタン、湿布、カイロ、エレキバン等が挙げられます。

- 腰椎や股関節に人工骨頭などの体内金属がある場合、造影剤(バリウムなど)使用後、核医学検査後は事前に担当技師にお知らせください。
- 妊娠またはその可能性のある方は必ず検査前にスタッフにご相談ください。
- この検査の食事制限はありません。

